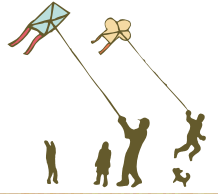




Good Wood Communication!

# かけがいの森から



## 林業現場の効率・安全を支える

### チームワーク!

職員 尾崎友昭

昨年末、県森連の高橋林産部長からこんな話を伺った。「陸上100m走で、日本人が世界上位に入ることはなかなか難しい。しかし400mリレーになると決勝に進み、上位入賞することができる。これは、日本人はバトンパスの連携が上手で、全体の工程短縮に『連携』がいかに重要かを表している。」という話だった。



この話は林業の現場につながっていく。互いの連携(チームワーク)によって全体の作業効率が大きく変わってくるのだ。常に次の工程を担う人のことを考えて作業することが大切になる。

例えば、後の集材のことを考えた伐倒作業。搬出作業がしやすい造材作業。さらには、集造材がしやすく、強固な作業路の設計・施工などだ。あたりまえのことかもしれないが、各作業・作業者がうまく連携して作業することは意外に難しい。



今年も、様々な作業が僕らを待っている。これらの作業が最適な連携で、効率よく、かつ安全に進められるように努めていきたい。日本の400mリレーのバトンパスのようなチームワークが求められる。



## ヒノキの伐倒方向を見極める

70年生ヒノキの間伐作業

就業3年目の鷲巣皓次朗職員

今年、「プラン」は自民党新政権に引き継がれる。今後はその影の部分、国産材の需給政策がしっかりなされることに期待したい。そして地域の森林が今後適切に管理され、資源が十分に活用されていくことを願う。ようやく育ち始めた森林管理の若手の芽を、さらに大きく膨らませていきたい。

民主党政権が立ち上げた「森林・林業再生プラン」が少しずつ波及を始めた。国産材自給率50%を目指し、現場では林地集約化の取り組みが始まり、間伐材の搬出量も増えてきた。県の林業用重機のリース補助事業も今年度から始まり、好評を得

ているという。その中で最も注目すべきことは、若手の人材が少しずつ育ちつつあることだ。林地の取りまとめや間伐材の搬出作業で徐々に活躍を始めた。当組合でもユーフォリスター達が日々奮闘している。これらは「プラン」

## 徐々に見えてきた「再生プラン」の光と影

の光の部分と言っている。その一方で「プラン」の影の部分も目立ってきた。あちこちから間伐材が急激に搬出され始めたことは、国内の丸太の需給バランスを大きく崩している。原木市場は丸太で溢れ混乱し、丸太の価格は更に下落している。特にヒノキの下落幅が大きい。原木価格の低下は山そのものの価値低下につながっていく。

## 国策「森林・林業再生プラン」現場に波及し始まる

## フォワーダー購入・ハーベスターをレンタル ~高性能機械 活躍~



今年も高性能林業機械(林業用重機)を活用して、間伐材の搬出作業を行っている。そのなかで、材の小運搬に使う「フォワーダー」を購入した。また、材の枝払玉切に使用する「ハーベスター」はレンタルした。稼働日数などの条件により、保有に向く機械とレンタルに向く機械がある。

## 丸太直送に必要な品質管理の技能を学ぶ ~原木選別評価士研修~

長嶋職員が、静岡県と県森連が主催する「原木選別評価士」研修に参加しました。本研修は山から出荷される丸太の選別・品質管理の技能を学ぶもので、原木市場を通さず、需要者に丸太を直接販売する際には、特にその技能が必要となってきます。

従来、市場がこの役割を果たしてきましたが、今、山での選別が必要になってきています。理由として2点、流通コストなどの中間経費を抑えるため、丸太で溢れる市場を回避するため、が考えられますが、いずれにしてもこれから必要な技能ですので、長嶋職員を起点に職場への定着を図りたいと思います。



写真の人紹介 鷲巣皓次朗さん  
「将来は現場のリーダー的存在になるよう日々精進していきます。」  
鷲巣です。「緑の雇用」研修などを経て、もうじき入社して丸3年が経つとしていきます。講師の方や、諸先輩の的確な指導により、技術・知識が少しずつ身に付いてきていると実感しています。これからは後輩を指導する機会もでてくるので、さらに多くのことを学び、知識を深め、技術を磨いていきたいです。また、将来は現場の若手のリーダー的存在になれるよう日々精進していきます。

## 各所で作業進行中です

現在進行中の事業を報告します。

- ・**治山事業** 平島地区にて37haの間伐実施中。  
上垂木地区にて調査・測量業務100haを実施中。
- ・**森の力再生事業(7年目)** 上西郷・原田・炭焼・居尻で約75ha程度実施。上西郷地区は作業完了。  
原田・炭焼・居尻地区にて間伐作業実施中。
- ・**搬出間伐事業** 丹間・炭焼・初馬・居尻で36haの間伐。1000m<sup>3</sup>程度の間伐材を搬出中です。
- ・**国有林事業** 島田市 大代国有林にて11.5haの間伐、260m<sup>3</sup>間伐材を搬出中です。
- ・**森林経営計画** 居尻地区100ha規模で計画を樹立予定。12月3日に対象地権者向け説明会を実施。年度内の計画認定を目指します。

## スギ・ヒノキの違い、分かるかな？

みなさま、この丸太の小口(年輪)を見て、スギかヒノキか分かりますか？象徴的な小口があったので掲載します。左がスギ、右がヒノキです。材質、色、目あい、香り。同じ植林木でもずいぶん違うんですよ。



## 従業員研修旅行 ~高野山へ~

11月半ば、従業員旅行で和歌山県の高野山に行ってきました。ここは、前から皆で「行きたいね〜」と言っていた場所。そして、大嶽専務(真言宗大尾山頭光寺住職)が大学4年間を過ごした場所。標高1100mの「山上の宗教都市」。俗世を離れた真言宗総本山 金剛峰寺を中心とした世界に、大きな感銘を受けた旅行でした。精進料理も美味でした。



## 12日 式典行事 in エコパアリーナ

皇太子殿下ご臨席のもと行われた式典行事。森林林業関係の功労者表彰、様々なアトラクション、林業関係者の宣誓などが行われました。



書道パフォーマンス アトラクション 知事のお言葉 皇太子殿下の前で宣誓

その中で印象深かったのは皇太子殿下のお言葉です。

「森林は国づくりのもとであり、絶えることなく水を育み、災害を防ぎ、木材等の森の実りを与えるなど大きな役割を果たすととも人々の暮らしを豊かにしてきました。一中略— こうした森林の大切さを思うとき、これまで緑を守り育ててきた技術や文化を、次の世代に確実に引き継いでいくことは、私たちに課せられた大きな役割であろうと考えます。」ありがたいお言葉でした。

## 12日・13日 森林・林業・環境機械展 inエコパグラウンド

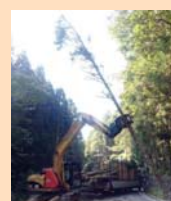
全国から60ものメーカー等が集まり、測量機械や最新のチェーンソー、林業用重機が勢揃いしました。目立っていたのはハーベスターでした。



大型木材破砕機 チェーンソーアート グラップルにハーベスター トラクタ型グラップル

### ★機械展で使われた12m枝付き材318本を当組合で支度

林業機械実演用の木材(枝付き・長さ12m)318本を当組合で支度しました。篠場、丹間、上西之谷3箇所で見出し、大型トラックで会場に届けました。伐採作業にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



「森林は国づくりのもと」皇太子殿下のお言葉 全国育樹祭の報告

皇太子殿下をお迎えしての育樹行事、「全国育樹祭」が11月11日12日に、伊豆市天城と袋井市小笠山運動公園で行われました。同時開催された「森林・林業・環境機械展」の様子とともに報告します。

## “これいい!” 購買担当「藍ちゃん」の オススメGOODS!!

- しいたけ種駒 『にく丸』
- 1000ヶ入 ¥2,888
- 500ヶ入 ¥1,575
- ストップ付き ¥698

乾・生の両方で大活躍の人気品種！肉厚で食べ応えのあるしいたけが採れます！！



### 組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動(相続・取得・売却)が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと 尾崎です。昨年11月、憧れていた「東京スカイツリー」に行ってきました。粋・雅・クリスマスカラー、それぞれの照明を楽しみ、450mの展望デッキからは東京のまばゆい夜景を堪能しました。東京ソラマチ含め凄いい人混みでしたが、こちらの「ツリー」の集客力・経済効果にあやかりたいなあと思いました。がんばれ「カケガワツリー」!!



 掛川市森林組合 TEL 0537-25-2111



### NHK クロスアップ現代より 日本の林業 成長産業へのカギは

先日NHKのクロスアップ現代で「眠れる日本の宝の山」と題し、日本の林業が取り上げられました。その中でドイツの林業が紹介されましたが、特に印象に残ったことが2つあります。1つはドイツの林業は、森林から製材・木材加工など、関連産業まで入れると、自動車産業以上の大きな雇用を生み出している、その産業規模は国内で最も大きなものになっているということです。もう1つはフォレスト(森林官)と呼ばれる人たちが、木材の需給調整をはかり、森林の現場と製材の現場のつなぎ、基本的には需要に基づいた木材生産がなされているということです。

日本の林業が今後学ばなければならないところだと思えました。